

指導技術		観点別の授業改善の視点			
教師の指導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導等)		生活や技術への関心・意欲・態度を向上させるための手だて	生活を工夫し創造する能力を向上させるための手だて	生活の技能を向上させるための手だて	生活や技術についての知識・理解を向上させるための手だて
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席と授業準備ができるように指導する。 ・本時のねらいや目標、課題等を明確にする。 ・作品の製作や実習では、本時のポイントや安全面について、理解しやすいようにICT等を利用し、説明内容や説明方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいや目標を理解しやすいように、板書や作品、ICT等を利用する。 ・演示する場合は、より分かりやすく、また、いろいろな方法を示し興味をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返ったり、身の回りの観察をして考えさせる。 ・事前の課題を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の手順や道具の名称や扱い方が理解できたか確認してから、授業を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・覚えなければならぬ道具や機材の特徴や使用方法、安全についていつでも提示できるようにしておく。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をし、必要に応じて個別指導やアドバイスをする。 ・製作のポイントや安全面に注意して作業するように指導する。 ・実習の準備や片付けが、速やかにできるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の考えや思いを引き出し、意見を発表しやすくする。 ・机間指導をして短い言葉掛けをし、個々の意欲を引き出し、主体的に学ぶ意欲をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先尾見通しをもって作業できるように計画させる。 ・工夫ができるような発展的な課題を準備しておく。 ・速やかに片付けができるように、毎時間声を掛け、習慣化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく、合理的に作業をしている生徒を評価し、学級にその技能を広げていく。 ・実技テストを実施する。 ・作業に必要な道具を正しく扱うことができるように個別指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なテストを通して知識理解の定着を図る。 ・作業手順が理解できるように、机間指導をする。 ・遅れがちな生徒には個別指導をする。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をして本時の目標がどれくらい達成できたか確認する。 ・自分の作業進捗の確認や次回の授業内容の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をして本時のねらいや目標ができたか、振り返らせる。 ・次時の予定を伝え、見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活に生かせることがないか具体的に考えさせる。 ・現状で満足しないで、よりよい作品を創るよう考えさせ、次の時間につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能が身に付いたかどうか自己評価をさせる。技能が身に付いていない場合は、次の時間、優先的に個別指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等を利用して学習内容のまとめや自己評価をする。